

文化財の見方・楽しみ方

特別編

～豊島区文化財めぐり 千登世橋中学校区の文化財をめぐる!～

今回は『中学校向け文化財マップ』を使った“文化財めぐり”についてご紹介します。

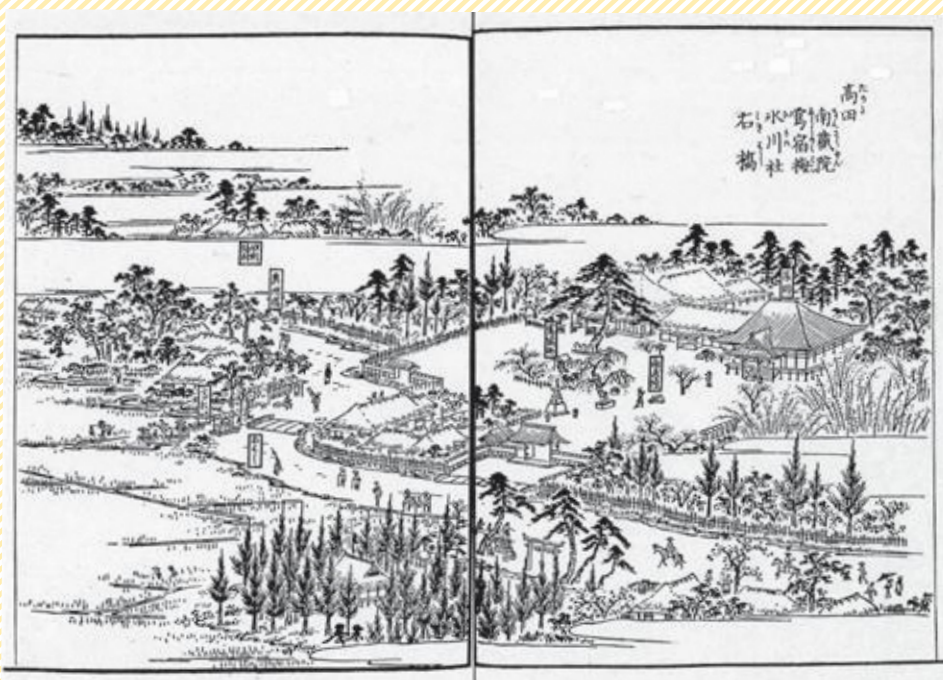
右の地図は、千登世橋中学校を発着場所とした、文化財めぐりのコースを紹介したものです。ここでは、氷川神社や南蔵院などをめぐるコースと千登世橋や鬼子母神堂をめぐるコースの二つを設けていますが、どちらも30～40分くらいで歩けるようになっています。

もし、時間があるときは、面影橋の停留場から旧鎌倉街道を通して、山吹の里の碑(いまはマンションの敷地内に移設されています)→氷川神社→南蔵院→金乗院→宿坂→(高田一丁目交差点)→(鬼子母神山道)→都電荒川線鬼子母神停留場→鬼子母神大門ケヤキ並木→並木ハウス→鬼子母神堂というルートをお勧めします。

というのも、この道は江戸時代の旅行ガイドである『江戸名所図会』に掲載されており、このころからお寺や寺院の位置関係がほとんど変わっていないことが実感できるからです。

氷川神社の鳥居は、江戸時代に寄進されたものがそのまま残っていますし、金乗院の山門も古いものです(屋根は戦後に葺き替え)。そして、終点の鬼子母神堂は、いまから約350年前に、当時の安芸地方(現在の広島県)で流行っていた様式の建物(本殿:後ろ側の黒うるし塗りの建物)と、その約15年後に建てられた江戸の様式の建物(拝殿:前側の建物)とが見られる貴重な建物で、国の重要文化財に指定されています。

『中学校向け文化財マップ』では、そのほかの中学校を発着点にしたコースも紹介しています。使い方や内容のお問合せについても庶務課で受け付けていますので、どうぞ、ご利用下さい。



えど 名所図会
江戸名所図会

